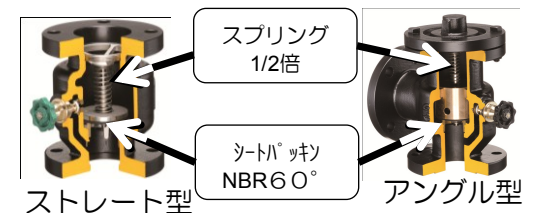


石崎製作所からのお知らせ

スイング式チャッキ弁と比べて、スモレンスキはスプリングにより止水性が高くなっています。しかし、フート弁の代替として使われる場合、スプリングが強い分吸い上げ抵抗（損失水頭）が大きくなるのでは・・・とお問い合わせをよく頂きます。そのような場合には、スモレンスキフート仕様の損失水頭一覧表をご案内しています。吸込みをご検討の際には是非ご参考にしてください。



損失水頭	ストレート型フート仕様	アングル型フート仕様
40A	0.8m	2.8m
50A	0.7m	1.9m
65A	0.6m	1.7m
80A	0.6m	2.2m
100A	0.5m	1.7m
125A	1.2m	1.6m
150A	1.0m	1.6m
200A	1.4m	1.9m
250A	1.0m	2.0m
300A	1.1m	—

※流速1m/sの損失水頭（参考地）

次回スモレンだよりの特集は・・・

「スモレンスキを逆さ付けにする場合の設置条件」です。

ここ数か月、お客様より「逆さ付けできるチャッキを探している！」というお問い合わせが増えていきます。スモレンスキはスプリング内蔵なので、縦・横・逆さに設置可能です。ただ一次側と二次側の圧力差などの条件により設置できない場合がございますので、逆さ付けの設置条件についてご説明いたします。次回号もお楽しみに・・・！

担当者の一ヶ月



「おふくろの味」の話題、時々出ますよね
大体盛り上がるのでしょうか、私の母親はよく唐揚げを作ってくれました。今にして思えば手間がかからないんですが、子供の頃はテンション上がりました。
東京に出てきても日々食べていたのですが、最近、美味しくないのです。一人の人が生涯食べれる唐揚げの総量に到達しつつあるのでしょうか？（意味が分かりませんが）
どうか夏バテのせいであって欲しい！
田中大樹



今月の目次

- ・ご挨拶
（千葉事業部長）
- ・事例紹介コーナー
「フート仕様検討事例」
- ・今月の特集
「落水しても配管外さずメンテができるスモレンスキアングル型フート仕様」
- ・石崎からのお知らせ
「フート仕様の損失水頭について」
- ・担当者の一ヶ月

◇残暑お見舞い申し上げます◇

この便りがお手元に届くころにはお盆休みも明け、真っ黒に日焼けした子供たちが宿題に奮闘している頃でしょうか。今月のスモレン便りは「スモレン フート特集」です。昨年末に発表以来、多くのお客様の支持を頂戴し着実に採用実績が伸びてきております。「スモレンフート」はポンプ～配管末端のどこでも設置可能で、逆止機能が高い*1ため落水し難く好評です。中でも“アングル型フート”は配管付けのままメンテナンスが可能で今後の伸びが楽しみな商品です。是非ご検討の程お願い致します。お陰様で短納期出荷体制も整いつつありますが、品種によっては出荷が集中する場合もございますので、ご予定案件へのご対応はお早めに手配頂きますようお願い致します。

*1: 弁体にパッキンを有しスプリングにより押圧するため逆止機能が低い



バルブ事業部長
千葉 和典

浅井信裕（技術主任）の事例紹介コーナー

No. 42

【フートバルブ仕様のスモレン】

【課題】： 工場内の設備においてフート弁を使用しているケースは多くあります。この現場でも冷却水の循環装置にフート弁を使用していましたが、ポンプの停止時にフート弁の固着により落水することが多々発生。落水する度に水槽から配管とフート弁を引き上げてメンテナンスをしなければならず、大変な手間がかかっていました。



写真① ポンプ廻り

【解決】： スモレンスキ SM 10K 80A フート仕様
スモレンスキ フート仕様は、吸込み圧が低くでも吸い込みしやすい様にスプリング強度を半分に設定、また背圧が低くても止水性を維持するためにパッキンを柔らかい素材に変更しています。水槽からポンプまでの中間位置に（液上に）設置可能であるため、異物が混入し詰まった場合でも配管を引き上げることなく液上でメンテナンスができます。

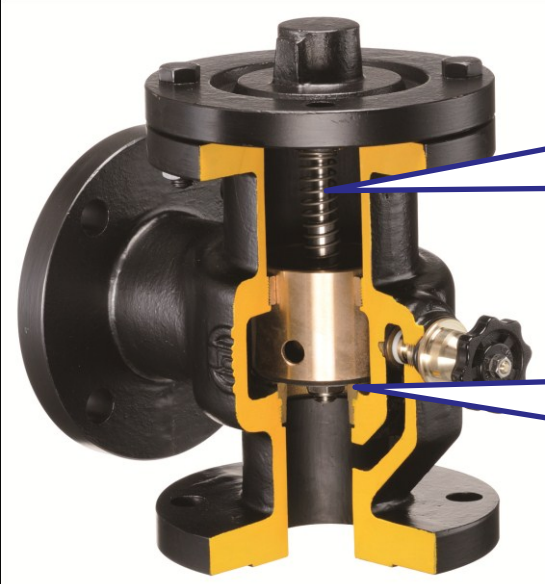


ポンプの一次側にフート弁としてスモレンスキを採用しています。今までスイング式を使用していたのですが、落水やメンテナンスの時の容易性を考えてスモレンフート仕様を採用しました。今は順調に動いています。稼働状況を見て他のラインに横展開予定です。



写真② 吸込み配管

スモレンスキ アングル型フート仕様



スプリングの強さを半分(1/2SP)にしています。
しっかり止水し且つ多少弱い引き込み圧でも開き
やすいように、通常品よりも強さを 1/2 にした
スプリングを採用しています。

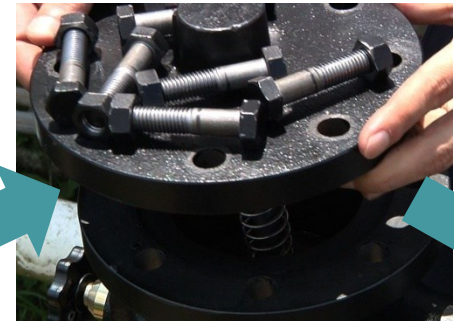
パッキンは標準品より柔らかい素材（NBR6
0°）を採用しています。
弱いスプリングでもしっかり止水できるように
柔らかい素材を採用しています。

スモレンのアングル型フート仕様は、吸込み管の底部に取付けるのではなく、吸込み配管の途中のエルボの代替として取付けるフート弁と呼ばれる逆止弁です。
吸込み管の途中に設置しても弁漏れが無いためポンプの吸込み側の配管内の水が抜けることはありません。
ストローの先を指で塞ぐと水が落ちないのと同じ原理です。

- 特長 1. 吸込み管の底部にあるフート弁と違い、バルブの蓋を外すだけでメンテナンスが可能のため、配管からバルブを取り外す必要がないことから、手間なく作業時間を短縮出来ます。
- 特長 2. バルブ自体がアングル型形状のため、吸込み配管側のスペースが狭い場所であったとしてもエルボと代替で設置が可能です。
- 特長 3. 弁体に標準型同様ゴム製のシートパッキンが装着され、バネによる押さえとともに弁漏れがありません。



① バルブの蓋のボルトナットを外す

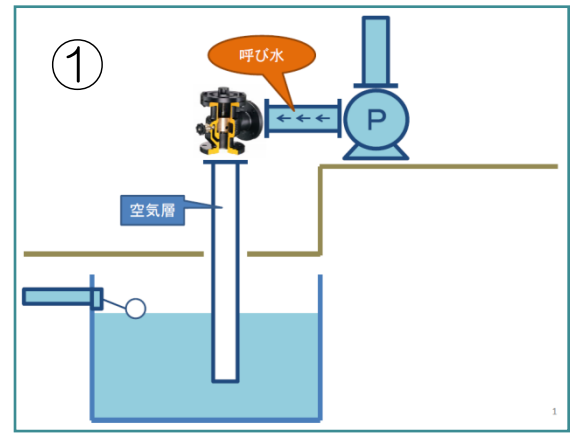


② バルブの蓋を外す

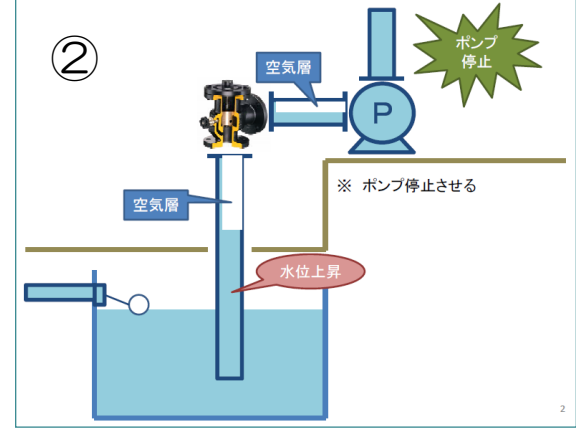


③ スプリング・弁体一式を取り出す

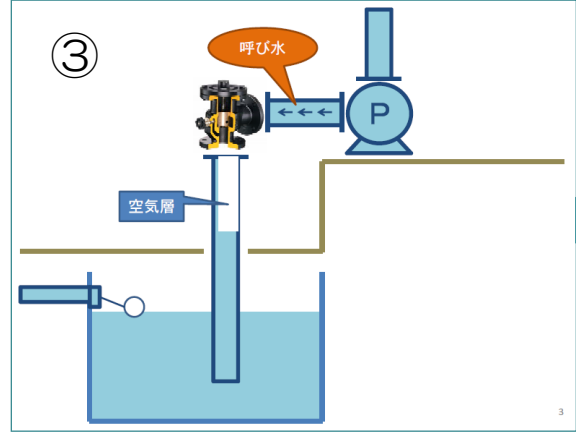
スモレンスキ フート仕様設置後の通水までの手順



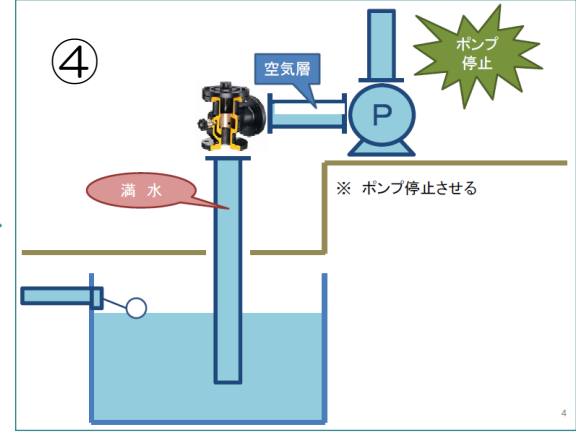
① 配管にバルブを設置後、ポンプ側より水を入れバルブの出口側を満水にする。



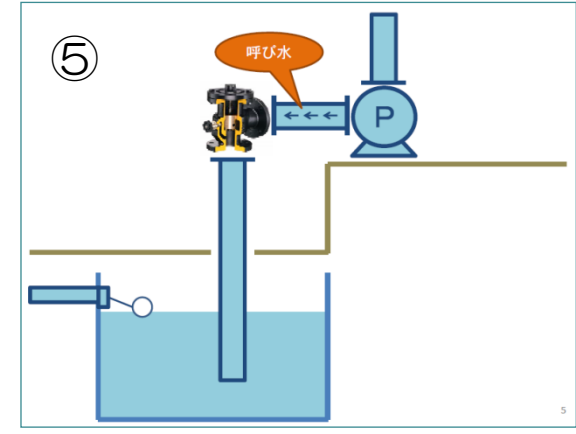
② 1度、ポンプをON-OFFさせる。バルブの入口側の水位を上がり出口側には空気層が出来る。



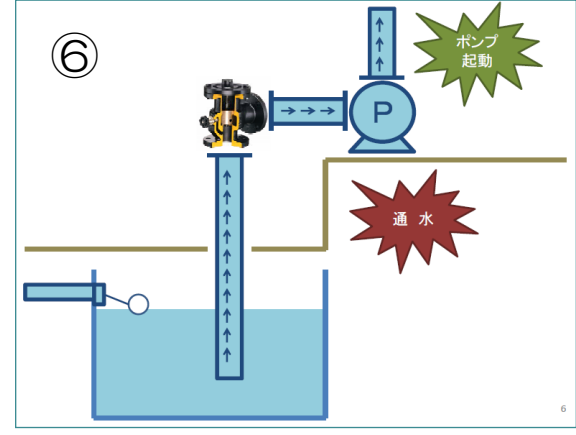
③ バルブ出口側の空気層をポンプ側より水を入れ、満水にする。



④ 再び、ポンプをON-OFFさせる。バルブ入口側の水位は満水となるが、出口側には空気が残る。



⑤ 再び、バルブ出口側の空気層をポンプ側より水を入れ、満水にする。



⑥ 吸込み管内が全て水で満たされれば、通水が可能となる。